

# Funehiki High School News vol.147

～がんばる船高生～  
**ATTENTION!**

第27回 ビジネスコース 石井 華苗さん  
進学コース 松崎 未来さん

進学・就職の両方に力を入れている船引高校。今年度も順調に3年生が進路を決定しています。今回は、「郡山女子大学家政学部食物栄養学科」にアドミッション・オフィス入試（AO入試<sup>※</sup>）で合格を決めた石井華苗さん（大越中出身）、松崎未来さん（移中出身）に話を聞きました。

※AO入試…大学の入試方法の一つ。高校での成績や小論文、面接などで入学の可否を判断する制度。今回2人が受けたAO入試では、指定されたテーマについて事前にポスターやパワーポイントを作成し、プレゼンテーションを行う課題が出されました。



▲石井さん(左)、松崎さん(右)

— 受験勉強で大変だったことは何ですか？  
石井さん プレゼンテーションの準備です。私は「食生活の現状とこれから」という題でプレゼンテーションを行いました。データ収集や食の問題点について調べたり、テーマに沿ったメニューを考え実際に調理したりしましたが、慣れないパワーポイントを使ってのプレゼンテーション用の資料作りには大変苦労しました。  
松崎さん 私もプレゼンテーションの準備です。私は「スポーツと栄養について～部活動を通して～」という題で行いました。3年間ソフトテニス部に所属していたので自分の実体験を交えながら、スポーツ選手に必要な栄養素や試合で力が発揮できる食事のとり方などを調べました。やはり、わかりやすくパワーポイントを使って資料を作るのは大変でした。先生方に何度もチェックして頂きながら完成させることができました。  
— 合格をした時の気持ちは？  
石井さん 嬉しかったです。面接の時、思うよ

うに答えることができなかったのが、受かるとは思っていませんでした。合格通知を見てとても嬉しかったです。家族や親戚もとても喜んでくれました。  
松崎さん 筆記試験に不安がありましたが、合格できて嬉しかったです。  
— 将来の夢は？  
石井さん 管理栄養士を目指しています。入院していた父が自宅療養となった時、食事管理の面で不安だった私たち家族に対して、管理栄養士さんが親切丁寧にアドバイスをしてくださり、安心して自宅療養を迎えることができました。私もこの様な食で誰かを支えることのできる管理栄養士になりたいです。  
松崎さん 管理栄養士を目指しています。中学生の頃職業体験で栄養士という職業があることを知り、一人一人に合った栄養管理をする仕事に興味を持ったのがきっかけです。将来は、病院などで食事を楽しみにして頂けるような献立を作る管理栄養士になりたいです。

## ◆ 10代の心を守るための授業

10月8日に本校スクールカウンセラーの遠藤みち恵先生をお迎えし、「インターネットの有効活用～ネット・スマホ依存を防ごう～」をテーマに講演会が行われました。

前半は、船引高校生のインターネット事情や依存に陥ると何が起きるのかなど原因や様々な影響について学びました。後半は、グループに分かれて、「どうしたらインターネットを安全に、有効に使うことができるのか」、「ネットやスマートフォンの使い過ぎ（依存）を防ぐためにはどうしたら良いのか」をテーマに話し合いが行われ、「別な楽しみを見つける」、「体を動かす」、「ルールを決める」など多くの意見が出されました。まとめとして先生からネット依存の防止法やチェックシートの活用について教えて頂きました。生徒はネット・スマホ依存にならないよう真剣な眼差しで先生の話に耳を傾けていました。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233  
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...[funehiki-h@fcs.ed.jp](mailto:funehiki-h@fcs.ed.jp)

一年のうちのこの時期、アメリカでは「祝日の季節」として知られています。アメリカ人は、ハロウィーンとクリスマスマスの間に、「収穫感謝祭」と呼ばれる十一月の祝日を祝います。この祝日には、家族が集まり一緒に食事をして一年間の感謝を捧げます。クリスマスのようにサンタクロースや贈物はありませんが、その代わりに家族でたくさん食べて、一緒に楽しく過ごします。感謝祭の一

## アメリカの感謝祭



Garrett Kaufman  
ギャレット・カフマンさん  
(アメリカ合衆国カリフォルニア州出身)  
田村市に来て3年目



私の家族には毎年感謝祭の日に行っている習慣がいくつかあります。それは、家族と一緒に祈りを一年の感謝を神様に捧げる、アメリカンフットボールを見る、ユニークなゲームをする、時には外でスポーツをすることなどです。

今、私が日本に住んでいるので、感謝祭の日には直接家族に会うことはできません。でも、幸いなことにインターネットを使ってすぐに家族みんなと話をするのができます。家族から感謝祭の日には家族みんなの顔を見て話すことができるよい機会です。



一般的な食べ物には、七面鳥、ハム、マッシュポテト、マカロニチーズなどです。

## 海を越えて 英語指導助手ペンリレ No. 76

## デインドの奇祭



Nathanael Shifley  
ナサニエル・シャイフリーさん  
(アメリカ合衆国オハイオ州出身)  
田村市に来て2年目

「デイワリ」は、毎年10月27日に行われる、インドで特に人気のあるお祭りです。インドの先住民には、「光のお祭り」としても知られています。デイワリは、「闇に勝利する光」あるいは「悪に勝利する善」を祝うヒンドゥー教のお祭りで、闇を恐れさせて家から追い出すために、誰もができる限り大きな音・光を出そうとします。そのために家を電球で飾りつけたり、花火を打ち上げたりします。花火の音が大きければ大きいほど、闇は恐れるのです。その結果、多くの家から打ち上げられるたくさんの花火で夜空が明るく照らされます。

の裏庭で花火をします。それは、夜空に花火を打ち上げて闇が家の中に入って来ないようにするためです。どこの家でも花火を一つ打ち上げるので、多くの人は眠ることができません。私がインドに住んでいた時、花火のせいで眠れない時が何度かありました。私と妹は、他の国では手に入れることができないような花火をよく見つけると、デイワリの期間にその花火を打ち上げ夜遅くまで起きていました。妹は花火のきれいな色合いが好きで、私は火薬の破裂音が好きだったので、私たちはデイワリを楽しみにしていました。

インドの人々と一緒にデイワリを祝うためにいつかインドに戻ることができればと願っています。もし、みなさんがデイワリを祝う機会があれば、ぜひ参加することを勧めます。花火を使うお祭りはとても楽しいです。

